



千葉労働動員

3.19ストライキ貫徹し、3.21千葉春闘集会へ!

さあ、いよいよ三・一九春闘ストまであと二日。拠点の幕張支部、新小岩・佐倉支部先頭に万全のスト体制を構築しよう！

いままでもなく、三・一九ストライキは、三月ダイ改での佐倉機関区の廃止を焦点とした貨物基地統廃合攻撃、「新フレイト二一」「貨物六千人体制」合理化攻撃との本格的な闘いのゴングを鳴らすものだ。

そして、幕張電車区における構内と仕業の融合化という人員削減のために、安全や高齢者対策を切り捨てようということに對して、ひいては、「構内作業全面外注化」の布告をなす攻撃に對する反撃の第一弾である。

いまこそ、闘いのとき

国鉄の分割・民営化攻撃とは、二〇万人の大量首切りという国家をあげた「大リストラ」として強行された。今日、「国鉄にならって公務員も半分に」・・・と、全通で、電通で、自治労で、全産別でこうした分割・民営化型の攻撃が吹き荒れている。怒りは満ちはじめている。韓国をはじめ、アメリカで、フランス、ロシア、ドイツ、スペイン、イタリアで、戦後最大のゼネストとデモが闘われている。世界中の仲間達が日本の労働者の決起をまっている。いまこそ、われら動力千葉が奮起するときだ。三・一九ストライキの

大爆発で全国の労働者の怒りに火をつけよう！闘う労働運動の新しい潮流をつくりだそう！

JR総連革マルの敵対粉碎し、春闘スト貫徹!

こうした中で、JR総連・革マルは、「九七真・春闘」なるものを打ち出しているが、その内容たるや、「三井金属はベア廃止だ」、「電機労連、鉄鋼は隔年春闘」、「春闘を闘う労働組合は皆無だ」と、泣き言ばかりをつらねている。そうであるならば、自らが先頭に立ち、春闘を復権させるために闘う気概もなければ覇気もない。

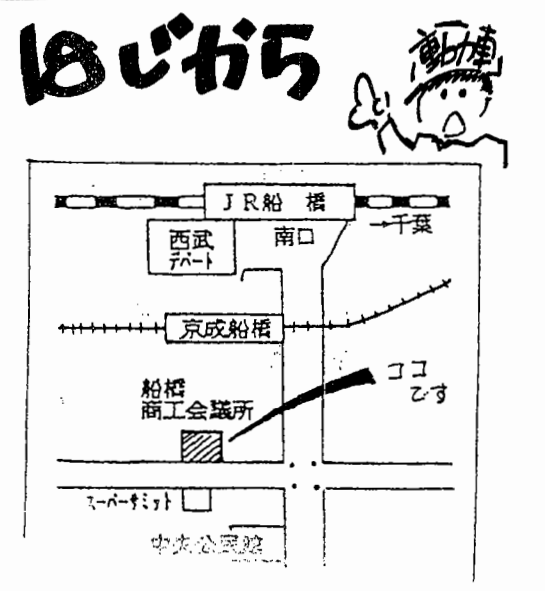
「真・春闘」の中身はただ一つ、JR総連の組織崩壊の危機のりきりのため、「JR東労組春闘を全組員の参加でつくり上げよう」―「国労との闘いの再展開・国労解体」に組合員を動員しようというものだ。

同時にこのことは、国労の春闘ストライキ方針に真っ向から敵対し、政府や当局の先兵として、「春闘を闘う労働組合を皆無」にするために「闘う」ことを宣言したということである。

JR総連・革マルの春闘ストへの敵対粉碎し、九七春闘勝利！三・一九ストライキを貫徹しよう！

三・二一千葉春闘集会の成功かちとろう！

3.21集会は船橋商工会議所



3/10 勝浦地労委

サウ回審問！東京地域本社 福島運輸車両部長会社側主導

三月一〇日、千葉地労委において、「勝浦運転区廃止差別事件」の第七回審問が行われ、会社側・福島義平証人（東京地域本社運輸車両部長）に對する会社側主導審問が行われた。

労働強化が最大の効果

審問で福島証人は、運輸区を設置した目的などを、社内報「JRひがし」などを読み上げながら証言を行ったが、結局、運輸区設置の最大の効果は、運輸士の数は増やすことなく業務を増やしてきたこと、つまり、JRに働く労働者の労働強化を行ってきたことが最大の効果であった。

二つの風呂がひとつになった

また、具体的な運輸区設置の効果として「車掌区と運輸区にあった風呂がひとつになった」という証言には、呆れはてるばかりであり、結局、鴨川運輸区の問題には一言もふれることができなかった。

今回は、四月一〇日、一三時から、福島証人への組合側反対審問が行われる。

勝浦運転区復活へ向け、傍聴動員に結集しよう。